

平成 29 年 6 月 7 日 豊洲市場移転問題特別委員会(意見表明)

○小林委員 ただいま議題となりました市場問題プロジェクトチーム小島座長の参考人招致につきまして、都議会公明党を代表して意見を申し上げます。

去る四月八日、築地市場事業者への説明、意見交換の際に、東京都専門委員の立場で、小島座長より、豊洲市場移転案とともに築地市場改修案の説明がなされました。

この点については、十八日の本特別委員会の質疑で、我が党の伊藤こういち理事より、築地市場改修案については、小島座長がプロジェクトチームの取りまとめに向けた検討素材とするために、専門委員として作成した私案であることを確認させていただきました。

しかしながら、唐突に説明がなされたこの私案は、築地再整備が魔法をかけたようにできてしまったと思わせるような内容と伊藤理事が指摘したように、業界団体や都民に混乱を生じさせるものでありました。

こうした事態を踏まえ、詳細な築地改修案の内容や、市場業者に説明がなされた意図を確認すべく、都議会公明党も賛成し、小島座長の参考人招致を本委員会において全会一致で決定をしたところであります。

結果的には、小島座長の出席は実現せず、一昨日の第十回会議において、市場問題プロジェクトチーム第一次報告書案の提示に至り、私案として説明された築地改修案も二つの案に分けて記載されております。

今後、各専門委員からの修正意見を受け、正式に知事に提出されます。さらに、十一日には、専門家会議による豊洲市場の安全対策の説明が築地市場業者に行われます。これらが市場のあり方戦略本部において検討されることとなり、小島座長の私案として築地改修案の説明がなされた時点とは状況が異なっております。

さきの代表質問において我が党は、都民が安心して利用できる市場という大きな目標の実現に向けて、早急に明確な判断を示すべきと主張したとおり、今なすべきは、スピード感を持って、市場の方向性を都民に示していくことであります。

第九回会議において、殊さら築地改修案がすぐれているという表現は望ましくないのではないかと他の専門委員の意見があったとも仄聞しております。さらに、第一次報告書案の冒頭には、本報告書は、東京都として特定の案を採用するべきであるという提案をするものではないと記載されております。

本報告書案初め、専門家会議の報告書も間もなく提示され、知事が市場問題を判断する材料がほぼ出そう環境が整うことから、現時点での小島座長の参考人招致は適切ではないと考えます。

以上、意見表明といたします。